

都市再生整備計画 事後評価シート  
白河北部地区

令和元年7月

福島県白河市

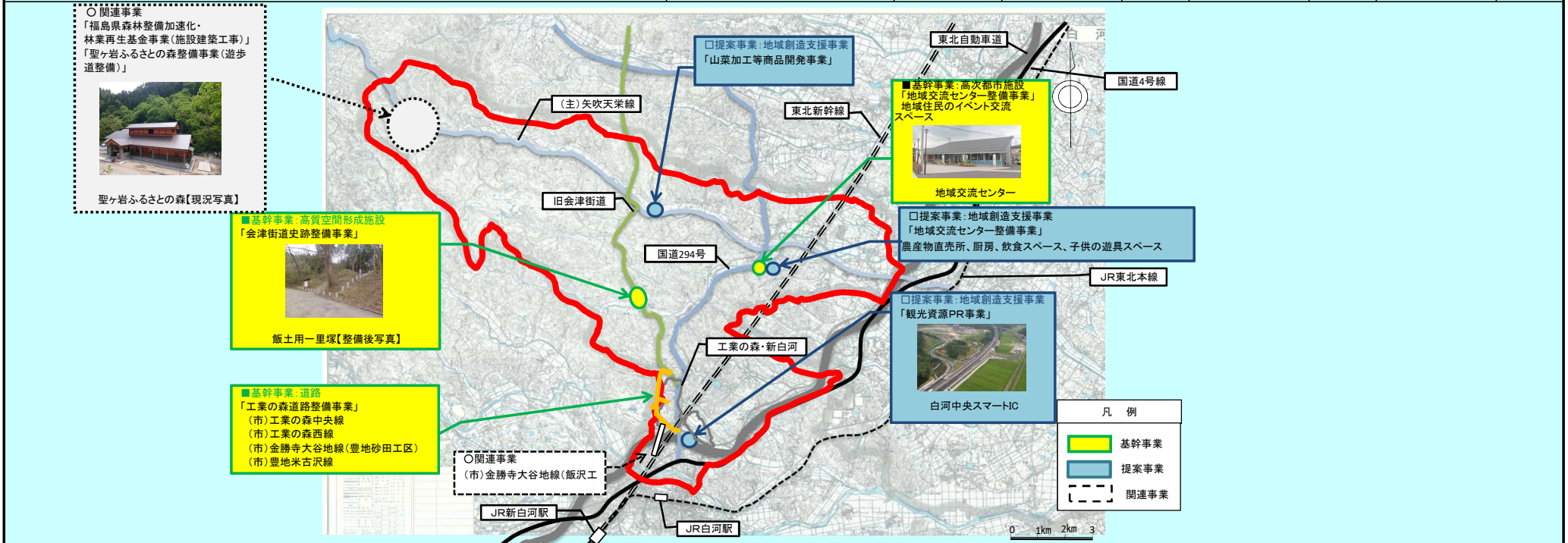
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福島県		市町村名	白河市		地区名	白河北部地区			面積	9,825.0 ha		
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	1140.2百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路((市)工業の森中央線、(市)工業の森西線、(市)金勝寺大谷地線)、高質空間形成施設(旧会津街道(飯土用地区))、高次都市施設(観光交流センター)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(聖ヶ岩ふるさとの森整備事業、聖ヶ岩フィールドワークプログラム構築事業、観光資源PR事業、白河ゴルフ倶楽部活用事業、山菜加工等消費開発事業、観光交流センター)									
			事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業	-									
			提案事業	聖ヶ岩ふるさとの森整備事業	聖ヶ岩ふるさとの森を守る会で開催した活動計画についての検討会で老朽化した屋外調理場は風情にあうことから自分たちの手で修繕した既存の調理場を活用したため、屋外調理場整備工は行わないことで意見がまとまった。								
			提案事業	聖ヶ岩フィールドワークプログラム構築事業	平成27年7月に「聖ヶ岩ふるさとの森を守る会」が組織化されたことにより、当初予定していた事業が行われており、活動においても同様の指導ができる。								
	交付期間の変更		当初	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
			変更	-									
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
指標1		事業所数	箇所数	200	H21	200	H28	200	100	あり なし ○		令和2年1月	
指標2		白河中央スマートIC交通量	台/日	1,916	H22	1,945	H28	2,801	144	あり なし ○			
指標3		聖ヶ岩ふるさとの森観光入込客数	人/年	663	H22	950	H28	6,632	698	あり なし ○			
指標4										あり なし			
指標5										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

## 様式2-2 地区の概要

白河北部地区(福島県白河市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値		目標値		評価値		
大目標: 東日本大震災による地域経済力衰退の防波堤となる産業振興拠点の支援整備や震災復興の大きな契機となる地域交流拠点の整備を推進し、地域の活力を創出するとともに、優れた交通アクセスの利便性を視野にいれながら、豊かな自然環境や地域資源を活かしたまちづくりに取り組むことにより、交流活動の拡大による地域再生を図る。 <目標 1> 震災復興につながる産業振興拠点の支援と地域交流拠点の創出 <目標 2> 個性的な地域資源を活かした地域間交流、都市間交流の拡大を図る。 <目標 3> 豊かな自然環境を最大限に活かし、地域の魅力向上を図る。	事業所数	単位: 箇所数	200	H21	200	H28	200	H26
	白河中央スマートIC交通量	単位: 台/日	1,916	H22	1,945	H28	2,801	H28
	聖ヶ岩ふるさとの森観光入込客数	単位: 人/年	663	H22	950	H28	6,632	H28
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化  
 ・地域交流センターを整備したことにより、聖ヶ岩ふるさとの森を利用した観光客が地域交流センターへ立ち寄る傾向にあり、休憩施設が整備されたことで、大震災前の地域の賑わいがよみがえった。  
 ・金勝寺大谷地線が整備されたことにより、白河中央スマートICから街中へのアクセスが容易になったため、白河中央スマートICの利用台数が増加した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)  
 ・地域交流センターの今後の位置づけを見直し、SNS等を活用したPRを行い、聖ヶ岩ふるさとの森と合わせて、白河北部地区の認知度を高めていく。そこから観光入込客数を増加させていきたい。

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○			
B. 目標を定量化する指標		○			
C. 目標値		○			
D. その他( )					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	(市)工業の森中央線	168.8	改良(L=592m)	175.1	改良(L=621m)			○	
	(市)工業の森西線	561.7	改良(L=2,767m)	576.1	改良(L=2,420m)			○	
	(市)金勝寺大谷地線	94.0	新設(L=400m)	94.0	改良(L=460m)			○	
	(市)豊地米古沢線			5.0	改良(L=103m)	事業の追加	工業の森B工区造成工事により、(市)豊地米古沢線との高低差が生じたことにより、取付道路工事を追加するため指標への影響はない。	○	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設	旧会津街道(飯土用地区)	35.0	会津街道にある史跡の整備	35.0				○	
高次都市施設	地域交流センター	72.5	特産物の販売による地域産業の活性化を図る。	138.6				○	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	聖ヶ岩ふるさとの森整備事業	49.5	施設リニューアル及び遊歩道等の整備	0.0		事業の削除	聖ヶ岩ふるさとの森を守る会で開催した活動計画についての検討会で老朽化した屋外調理場は風情にあうことから自分たちの手で修繕した既存の調理場を活用したいため、屋外調理場整備工は行わないことで意見がまとまった。指標への影響はない。		
	聖ヶ岩フィールドワークプログラム構築事業	1.0	自然体験プログラムの構築及びコーディネータの育成	0.0		事業の削除	平成27年7月に「聖ヶ岩ふるさとの森を守る会」が組織化されたことにより、当初予定していた事業が行われており、活動においても同様の指導ができることから、指標への影響はない。		
	観光資源PR事業	1.0	観光案内板を設置し、都市間交流を促進。	1.0				○	
	白河ゴルフ倶楽部活用事業	1.0	ゴルフコースを開放し自然体験のイベントを開催	0.0		事業の削除	NPO白河ゴルフ倶楽部で小学生を対象としたゴルフレッスンを2年間行ったところ好評により、平成28年度予定であった白河ゴルフ倶楽部を活用したイベントを開催しなくても十分代替えることとなった。指標への影響はない。		
	山菜加工等商品開発事業	2.0	商品開発を行い、新設する観光交流センターを販路とするための組織化	2.0				○	
	地域交流センター	27.5	特産物の販売による地域産業の活性化を図る。	113.4				○	
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
交付金事業(道路)		金勝寺大谷地線	463.0	463.0	H19～H27	H19～H28	完成	
福島県新林整備加速化・林業再生基金事業(施設建築工事)		隈戸地区(聖ヶ岩ふるさとの森)		96.7	H25～H27	H25～H27	完成	
聖ヶ岩ふるさとの森整備事業(遊歩道整備工事)		隈戸地区(聖ヶ岩ふるさとの森)		8.4	H27	H27	完成	



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし		
指標1	事業所数	箇所数	経済センサス基礎調査の結果を用いる。			200	H22	200	H28	モニタリング			モニタリング		○
										事後評価	確定見込み ○	200	事後評価	100	
指標2	白河中央スマートIC交通量	台/日	白河中央スマートインターチェンジ料金所利用台数を東日本高速道路株式会社より聞き取りを行う。			1,916	H22	1,945	H28	モニタリング			モニタリング		○
										事後評価	確定見込み ○	2,901	事後評価	144	
指標3	聖ヶ岩ふるさとの森観光入込客数	人/年	聖ヶ岩ビジターセンター利用者数を集計し、平成28年1月から平成28年12月までの利用者数を評価値とする。。			663	H22	950	H28	モニタリング			モニタリング		○
										事後評価	確定見込み ○	6,632	事後評価	698	
指標4										モニタリング			モニタリング		
										事後評価	確定見込み		事後評価		
指標5										モニタリング			モニタリング		
										事後評価	確定見込み		事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	事業完了年度時の経済センサス基礎調査結果が当該年度の情報ではないことから事業完了後直近の経済センサス基礎調査結果を評価値とするため。	
指標2	白河市道金勝寺大谷地線が整備されたことにより、白河中央スマートインターから市街地へのアクセスがよくなったため。	
指標3	地域交流センターを整備したことにより、聖ヶ岩ふるさとの森を利用した観光客が地域交流センターへ立ち寄る傾向にあり、休憩施設が整備されたことが、聖ヶ岩ふるさとの森を散策できる要因となったため。	
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
—	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
—	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
—	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
—	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
白河市都市再生整備計画事業(白河北部地区)関係課に対する意見聴取	市長公室 企画政策課、産業部 観光課、農政課、建設部 都市計画課、まちづくり推進課、道路河川課、大信庁舎 事業課	令和元年5月7日～令和元年5月17日	建設部 都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標を定量化する指標1	指標を定量化する指標2	指標を定量化する指標3	指標○
指標名		事業所数	白河中央スマートIC交通量	聖ヶ岩ふるさとの森観光入込客数	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路・(市)工業の森中央線	◎	新白河・工業の森へのアクセス、白河中央スマートインターチェンジから市街地のアクセスが容易になったことで、事業所数の維持に寄与されている。	◎	白河中央スマートインターチェンジから市街地への直接的なアクセスが可能となったことが、利用交通量の増加につながっている。
	道路・(市)工業の森西線	◎			
	道路・(市)金勝寺大谷地線	◎			
	道路・(市)豊地米古沢線	○			
	高質空間形成施設・旧会津街道(飯土用地区)				
	高次都市施設・地域交流センター				
提案事業	観光資源PR事業		◎	◎	地域交流センターの整備、関連事業を行ったことにより、聖ヶ岩ふるさとの森を利用するだけでなく、そのほかの観光資源を利用することができるようになった。
	山菜加工等商品開発事業			○	
	地域交流センター			◎	
関連事業	交付金事業(道路)・金勝寺大谷地線	◎	◎	◎	
	福島県新林整備加速化・林業再生基金事業(施設建築工事)・隈戸地区(聖ヶ岩ふるさとの森)			◎	
	聖ヶ岩ふるさとの森整備事業(遊歩道整備工事)・隈戸地区(聖ヶ岩ふるさとの森)			◎	

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	引き続き、工業の森へのアクセス道路整備に努め、事業所数を維持していきたい。	引き続き、白河中央スマートインターチェンジの利用促進を図ってきたい。	引き続き、観光資源のPRを行っていき、聖ヶ岩ふるさとの森に留まらず、市全体の観光入込客数の増加を図ってきたい。
-------	---------------------------------------	------------------------------------	---

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
白河市都市再生整備計画事業(白河北部地区)関係課 に対する意見聴取	市長公室 企画政策課、産業部 観光課、農政課、建設部 都市計画課、まちづくり推進課、道路河川課、大信庁舎 事業課	令和元年5月7日～令和元年5月17日	建設部 都市計画課

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
東日本大震災を貴重な経験として、また地域再生の契機としてとらえ、元氣なふるさとを取り戻すためのまちづくりが必要となっている。	地域交流センターを整備したことにより、地域コミュニティの場を提供し、地域の活力を活性化した。	特になし。	特になし。
東日本大震災復興の取組みとして、地域再生の大きな契機となる交流拠点を整備し、地域の安心を確保するとともに、活性化を図る必要がある。	地域交流センターを整備したことにより、地域コミュニティの場を提供し、地域の活力を活性化した。	特になし。	
地域資源それぞれに機能するのではなく、交流活動の拡大のため、有機的な連携を図る必要がある。	白河中央スマートICの利用促進、旧会津街道(飯土用地区)の整備により、市街地から北部地区までの観光ルートが確保され、地域交流センターを拠点とした交流活動が行うことができる。	特になし。	
施設の老朽化、リピーターが低減してきている状況を考慮し、大規模な施設リニューアルとフィールドアメニティの拡充を図る必要がある。	地域交流センターと関連事業により整備された聖ヶ岩ふるさとの森が連携し、施設リニューアル、フィールドアメニティの拡充を図ることができた。	特になし。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	地域再生の大きな契機となる交流拠点を整備し、地域の安心を確保するとともに、活性化を図る	交流拠点(地域交流センター)を活用した地域コミュニティの場を提供する。	

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input checked="" type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

特に意見等はなかった。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画				
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	事業所数	箇所数	200	H22	200	H28	確定		200	100	あり	○	→	令和2年7月	経済センサス基礎調査結果による。	
						見込み	○				なし	○				
指標2	白河中央スマートIC交通量	台/日	1,916	H22	1,945	H28	確定	○	2,901	144	あり	○	→			
						見込み					なし					
指標3	聖ヶ岩ふるさとの森観光入込客数	人/年	663	H22	950	H28	確定	○	6,632	698	あり	○	→			
						見込み					なし					
指標4				H		H	確定				あり		→			
						見込み					なし					
指標5				H		H	確定				あり		→			
						見込み					なし					
その他の数値指標1				H	/		確定				/		→			
						見込み										
その他の数値指標2				H	/		確定				/		→			
						見込み										
その他の数値指標3				H	/		確定				/		→			
						見込み										





## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	市道金勝寺大谷地線の整備により、市内から白河スマートICまでのルートの確保、地域交流センターの整備により、休憩施設等の充実が図られたため、スマートIC交通量、聖ヶ岩ビジターセンター利用者数の増加につながった。	地域の特色に応じた目標値の設定を行う。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	市道金勝寺大谷地線が整備されたこと、地域交流センターが整備されたことで、スマートICの利用台数増加、聖ヶ岩ビジターセンターの利用者数増加につながっている。	地域性による個別事業となるため、地域の特色に合わせた事業の設定を行う。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	地元商店街と連携し、地元住民ともに商品開発を行った。開発した商品は、地域交流センター及び各種イベントにおいて提供している。	地域の特色に合わせた地場産品の活用を検討する際に、地元商工会等と連携する。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	事業の検討から実績までの一連の関係性につながった中で事業を展開することにより、各事業が総合的に本計画に何かしらの影響を与えることができた。	各事業の関係性に、横のつながりを持たせて事業を検討、実施していく。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

### 添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

特になし。

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	白河市ホームページに掲載。	令和元年5月21日	令和元年5月21日～6月20日	ホームページ等による 意見収集。	建設部都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見なし。				
-------	-------	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	若井 正一	令和元年5月23日	建設部都市計画課	白河市都市計画審議会 条例	白河市都市計画審議会
その他の委員	小椋 栄一、鈴木 俊雄、内田 宣枝、深谷 宏光、栗原 實、金子 善弥、鈴木 節夫、深谷 政男、玉川 里子、大花 務				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書について、特に意見等はなかった。
	成果の評価	成果の評価について、特に意見等はなかった。
	実施過程の評価	実施過程の評価について、特に意見等はなかった。
	効果発現要因の整理	効果発現要因の整理について、特に意見等はなかった。
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案の公表について、特に意見等はなかった。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	次期計画を整備していないため、特に意見等はなかった。
	フォローアップ	フォローアップについて、特に意見等はなかった。
	その他	特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	特になし
その他	特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

### (7) 有識者からの意見聴取

#### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	<div data-bbox="607 746 1733 903" style="border: 1px solid black; padding: 20px; display: inline-block;"><h1>未実施</h1></div>
--------	---